

個別注記表

重要な会計方針

- この計算書類は、中小企業の会計に関する指針によって作成しております。
- 棚卸資産の評価方法
移動平均法による原価法
- 固定資産の減価償却の方法
 - 有形固定資産
法人税法の規定による定率法
 - 無形固定資産（ソフトウェア）
社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法
- 引当金の計上基準
 - 貸倒引当金
一般債権については、貸倒実績率による計算額を、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を検討し回収不能見込額を計上しております。
 - 賞与引当金
従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。
 - 退職給付引当金
従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務（期末自己都合要支給額とする簡便法）の見込額に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上しております。
- リース取引の処理方法
リース物件の所有権が借り主に移転すると認められる以外のファイナンスリース取引につきましては、通常の賃貸借取引に係わる方法に準じた会計処理によっております。
- 消費税の会計処理
税抜方式を採用しております。

貸借対照表注記事項

- 有形固定資産の減価償却累計額 565,654,185円
減価償却累計額には、減損損失累計額2,189,884円が含まれております。
- 担保に供している資産

土地	78,251,081円
建物	<u>34,867,106円</u>
合計	113,118,187円

上記に係る債務

長期借入金	<u>279,716,000円</u>
-------	---------------------
- 重要なリース資産
貸借対照表に計上した固定資産のほか、リース契約により使用している機械装置（レーザ加工機、ダイシング装置、上塗り塗装機、リード付装置等）があります。
当期の支払いリース料総額 17,546,591円
- 受取手形割引高 77,734,781円
- 当期末日満期手形の会計処理
当期末日満期手形の会計処理は、手形交換日をもって決済処理しております。尚、当期会計期間の末日は金融機関の休日であったため、次の当期末日満期手形が、当期末残高に含まれております。
受取手形 8,968,196円

以上